

株主  
通信

Online Business Solution & Service  
Cloud Enabling

# 財務ハイライト

## 第23期 第2四半期連結業績

(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

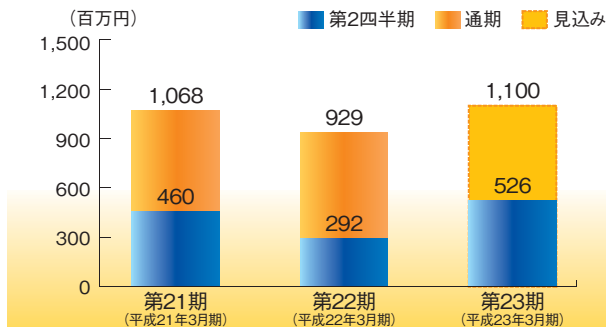
売上高 **13,944百万円**

経常利益 **526百万円**

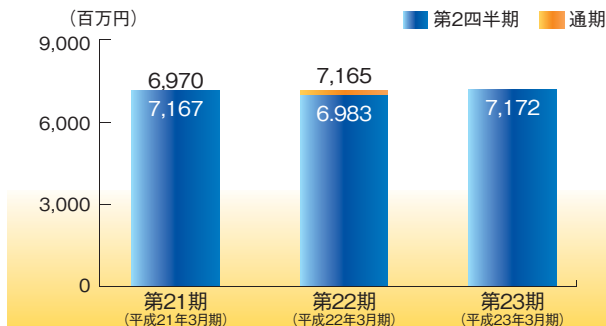
四半期純利益 **228百万円**

純資産 **7,172百万円**

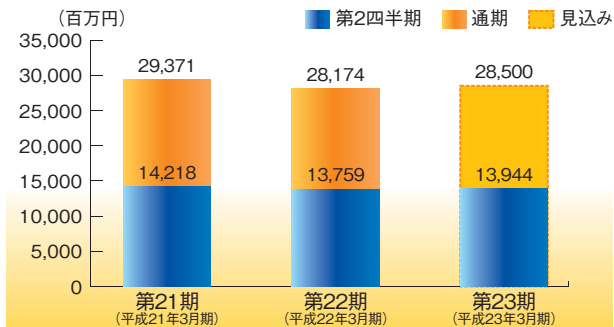
### ● 経常利益の推移と見込み



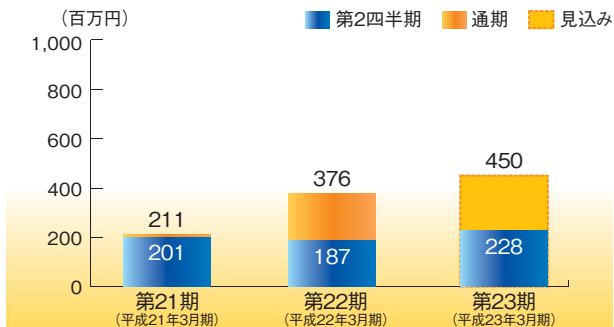
### ● 純資産の推移



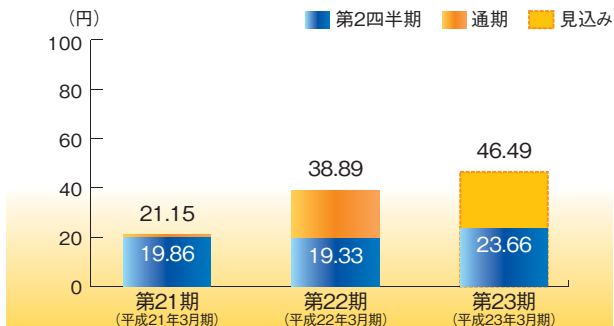
### ● 売上高の推移と見込み



### ● 四半期(当期)純利益の推移と見込み



### ● 1株当たり四半期(当期)純利益の推移と見込み



(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



# 株主の皆様へ

## 第23期(平成23年3月期) 第2四半期決算報告について

代表取締役社長

石川 憲和

当第2四半期連結累計期間の売上高は13,944百万円(前年同期比+1.3%)、営業利益は472百万円(前年同期比+115.2%)となりました。これは、イービジネスサービス事業が安定的な売上の確保により堅調に推移したことと、ソリューション事業が収益改善による黒字化を果たしたことによるものです。

経常利益は持分法適用関連会社の減少に伴う、持分法による投資利益の減少はありましたが、526百万円(前年同期比+80.1%)となりました。

特別利益では投資有価証券売却益を計上、特別損失では投資有価証券評価損、固定資産除却損、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したものの、四半期純利益は228百万円(前年同期比+22.4%)となりました。

当第2四半期は配当を行いませんが、当期末におきましては、前期末に実施しました1株あたり16円を基準に検討してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# トピックス

## Microsoft® Online Services対応 社外アクセス禁止ソリューション 「Online Service Gate」を提供開始

マイクロソフト株式会社が提供するクラウド型統合グループウェア「Microsoft® Online Services」に対応する、社外アクセス禁止などのアクセス制限を行うことができるソリューション『Online Service Gate』の提供を開始しました。

情報システムにおいては、コストダウンを目的としたクラウドサービスへの需要が拡大する一方で、インターネットを介した利用形態に対して一定のセキュリティレベルを維持したいというニーズが高まっています。具体的には、「クラウドサービスを利用するに当たり、自社ポリシーに合わせてユーザーの利用方法を制限できないか」というご要望が多く寄せられていました。『Online Service Gate』は、「Microsoft Online Services」と連携し、社外からのアクセス制御の実現など、お客様によりセキュアな利用環境を提供します。

今後もMicrosoft Online Services認定パートナーとして、お客様のビジネスを強力に支援するサービスを提供してまいります。

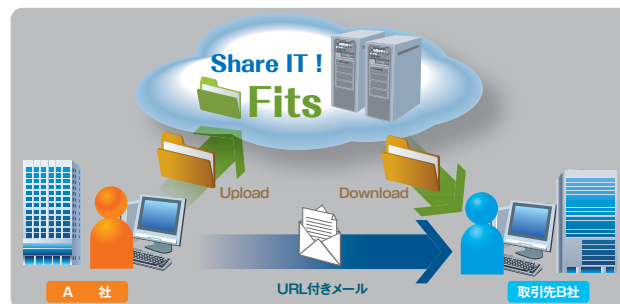


## ビジネスコミュニケーション基盤の クラウド型サービス「Share IT !」シリーズ

第1弾:大容量ファイル共有サービス  
「Share IT ! Fits」を提供開始

低価格、最高品質セキュリティの両方を実現

企業のビジネスコミュニケーションを支えるクラウドサービス基盤「Share IT !」(シェアアイト)の第1弾サービスとして、「Share IT ! Fits」(シェアアイト フィッツ)の提供を開始しました。「Share IT ! Fits」は、当社が持つセキュリティ対策技術およびクラウドインテグレーション技術と、トライボッドワークス株式会社が1,000社以上の導入実績を持つセキュリティ製品「GIGAPOD(ギガポッド)シリーズ」の技術を融合させ、共同開発した企業向け大容量ファイル共有サービスです。昨今、企業の情報システムへのニーズは、これまでの膨大な導入維持コストをかけた「所有」する形から、インターネット経由で必要なサービスを低コストに「利用」する形へと変化してきています。しかし、インターネットを活用したクラウド型サービスに対し、セキュリティの不安を抱く企業は少なくありません。当社は、ビジネスシーンでやり取りされる大容量のデータをインターネット経由で「安全に共有する」仕組みを実現した「Share IT ! Fits」で、インターネット上の企業間コミュニケーションを支えるセキュアなクラウドコンピューティング環境を提供します。今後、「Share IT !」サービス品目を拡充し、中小企業から大手グローバル企業まで幅広くビジネスコミュニケーションのサポートを推進してまいります。





## 資生堂にアクセス解析製品「RTmetrics®」を導入

顧客とのリレーションを築き、顧客理解を深める  
企業戦略をさらに強化

化粧品事業国内最大手である株式会社資生堂のサービスサイト、コーポレートサイトのWebアクセス解析ツールとして、パケットキャプチャ型リアルタイムアクセス解析製品「RTmetrics®」が採用されました。資生堂では、顧客一人ひとりに合わせたきめ細かなサービスを提供する「One to Oneマーケティング」を推進するプラットフォームとしてのWebサイト活用を目標として、アクセス解析ツールの導入を目指しておりました。

「RTmetrics®」は、月間数千万PVを超えるWebサイトでも安定稼働し、リアルタイムに解析可能であり、サイトの利用実態や訪問者一人ひとりの詳しい動向を、簡単な操作で把握、分析することが可能な製品です。また、分散する複数のWebサーバも一元的に解析できるため、全サイトを横断的に分析・評価することが可能となり、資生堂のアクセス解析ツールへのニーズを満たすことができました。

当社は、引き続き、資生堂に対して「RTmetrics®」の活用促進を支援し、アクセス解析のノウハウ提供に取り組んでいきます。

## Webコンテンツの更新/管理業務を 支援する中堅企業向け 『クラウド型CMS』の提供開始

移行作業が容易なTeamSiteをクラウドモデルで初提供

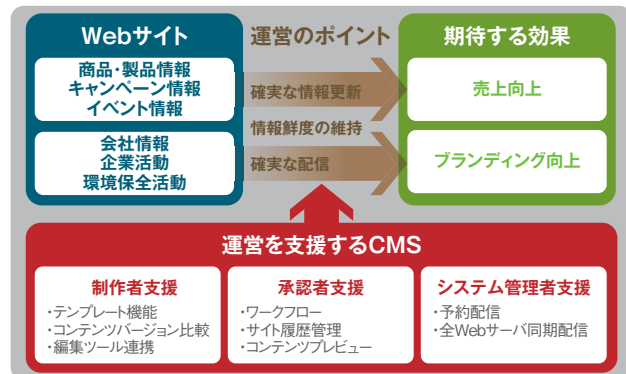
オートノミー株式会社と協同で、オートノミーが提供するコンテンツ管理システム(CMS)製品「Autonomy Interwoven TeamSite」を初めて『クラウド型CMS』サービスとして中堅企業向けに提供開始しました。

TeamSiteは、企業のWebサイトの更新・管理業務を支援し、企業の売上向上、ブランド向上のお手伝いをするコンテンツ管理パッケージです。企業におけるWebサイト戦略が重要な位置づけとなる中で、膨大な量のコンテンツ管理、徹底したコンプライアンス対応などのWebサイト運用をサポートするCMSの役割は大きくなっています。

「Cloud Enabling®」事業を標榜する当社は、初期投資を必要とせず、リーズナブルに構築、迅速に導入・開始できる『クラウド型』としてCMSを提供することで、これまで培ってきたCMSの導入実績・ノウハウを活かし、中堅企業のIT部門と業務部門の要件を満たしたWebサイト戦略基盤を強力にサポートします。



Copyright © Shiseido Co., Ltd.



# 事業の概況

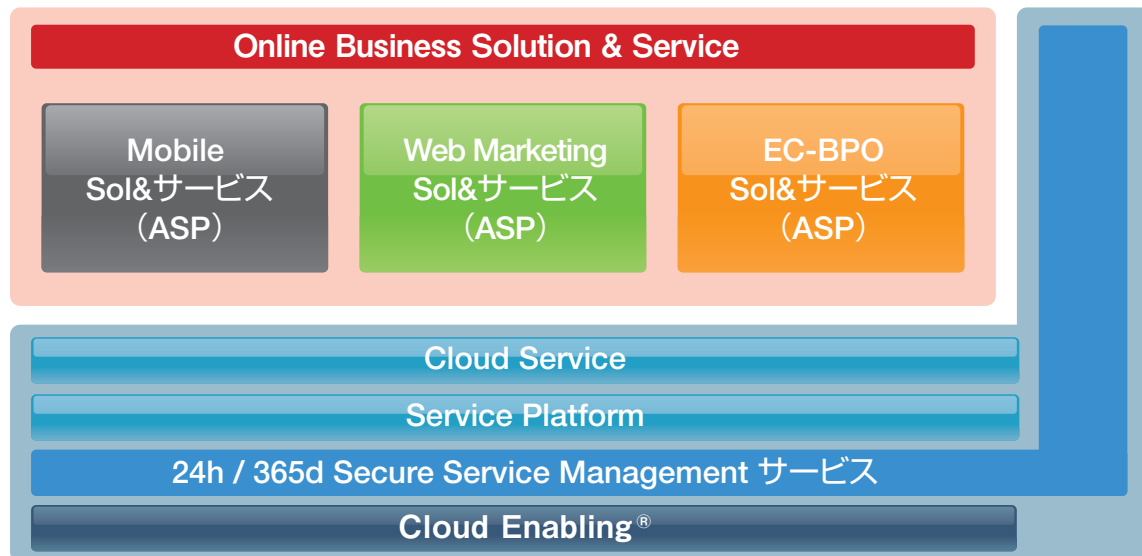
## 事業の概況

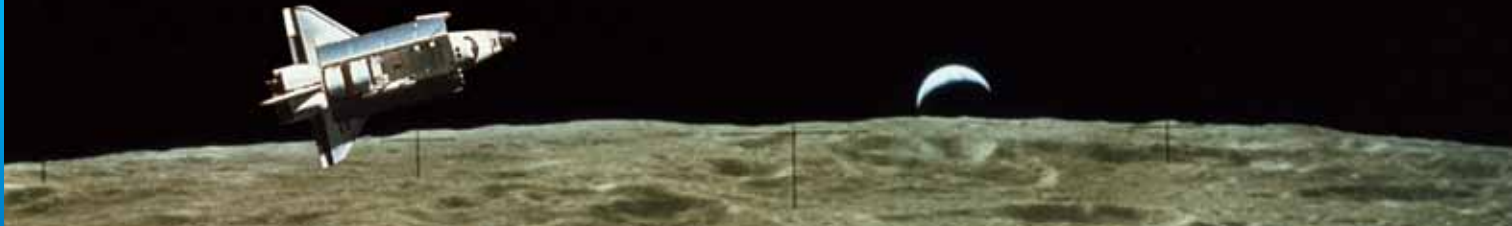
当社は、これまでに培った技術力、ノウハウを礎として、顧客に提供するソリューション形態をワンタイムソリューションから継続したサービスへとシフトさせてまいりました。

「System Integrator から Service Integrator へ」をスローガンに、今後も事業のサービス化を積極的に進めてまいります。

当社事業の推進にあたっては、「Online Business Solution & Service」と「Cloud Enabling®」、2つの事業軸にFocusします。「Online Business Solution & Service」とはECのプロデュース&

コンサルティングサービス、Webマーケティングサービス、モバイルサービスから構成されるソリューション&サービス群です。「Cloud Enabling®」とは ①Cloud Service ②それを支えるService Platformの構築、③ID管理・端末管理等のManagement Service、④Secureな24時間365日の運用保守サービス で構成されます。当社は、この2つの事業軸にFocusしながら事業のサービス化を推進し、「System Integrator から Service Integrator へ」と進化・発展してまいります。





## ●イービジネスサービス事業



当第2四半期連結累計期間の売上高は8,276百万円(前年同期比 $\Delta$ 3.9%)、セグメント利益は401百万円(前年同期比 $\Delta$ 10.7%)となりました。当期よりコンタクトセンターサービスをソリューション事業に移管したため、当第2四半期連結累計期間において、売上高は220百万円、セグメント利益は45百万円の減少効果がありました。

しかし、ウイルス対策ソフト販売において、オートリニューアル(ライセンス自動更新)システムへの誘導により売上高を安定的に確保し、堅調に推移しました。

## ●ソリューション事業

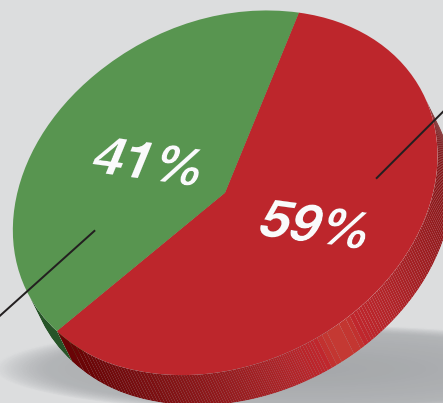


当第2四半期連結累計期間の売上高は5,667百万円(前年同期比+10.1%)、セグメント利益は71百万円(前年同期は230百万円の営業損失)となりました。売上高は、ソフトバンクグループ向けの受注が好調に推移したため増加しました。セグメント利益においては、前期に発生した大型不採算案件による損失がなくなった上、コスト削減効果と売上増による稼働率の向上により、増益となりました。

### ■事業別連結売上高構成比率

第23期 第2四半期  
連結売上高(累計)  
13,944百万円

ソリューション事業



イービジネス  
サービス事業

# 四半期連結財務諸表

## POINT 1

### 流動資産

主に受取手形及び売掛金の減少などにより、53百万円減少しました。

## POINT 2

### 固定資産

主に投資有価証券の減少などにより、85百万円減少しました。

## POINT 3

### 流動負債

主に買掛金や未払法人税等の減少などにより、280百万円減少しました。

## POINT 4

### 固定負債

主に長期前受金の増加などにより、133百万円増加しました。

## ● 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目                               |            |            | 科 目                          |            |            |
|-----------------------------------|------------|------------|------------------------------|------------|------------|
| 当第2四半期<br>連結会計期間末<br>(平成22年9月30日) |            |            | 前連結会計<br>年度末<br>(平成22年3月31日) |            |            |
| 資産の部                              |            |            | 負債の部                         |            |            |
| 流動資産 ①                            | 8,524,595  | 8,578,528  | 流動負債 ③                       | 4,910,001  | 5,190,211  |
| 現金及び預金                            | 3,592,416  | 3,581,176  | 買掛金                          | 3,350,053  | 3,484,574  |
| 受取手形及び売掛金                         | 3,383,082  | 3,756,673  | 未払法人税等                       | 210,955    | 335,498    |
| 有価証券                              | 399,147    | 200,000    | その他                          | 1,348,992  | 1,370,139  |
| 商 品                               | 81,721     | 105,370    | 固定負債 ④                       | 506,341    | 372,983    |
| 仕 掛 品                             | 328,451    | 283,843    | リース債務                        | 108,928    | 120,402    |
| 繰延税金資産                            | 203,864    | 192,337    | 長期前受金                        | 334,736    | 235,458    |
| そ の 他                             | 537,248    | 460,921    | その他                          | 62,676     | 17,122     |
| 貸倒引当金                             | △ 1,335    | △ 1,795    | 負債合計                         | 5,416,343  | 5,563,194  |
| 固定資産 ②                            | 4,064,589  | 4,150,524  | 純資産の部                        |            |            |
| 有形固定資産                            | 492,826    | 468,691    | 株主資本                         | 7,192,426  | 7,118,282  |
| 無形固定資産                            | 490,747    | 524,095    | 資本金                          | 634,555    | 634,555    |
| 投資その他の資産                          | 3,081,014  | 3,157,737  | 資本剰余金                        | 712,204    | 712,204    |
| 資産合計                              | 12,589,184 | 12,729,052 | 利益剰余金                        | 6,593,219  | 6,519,075  |
|                                   |            |            | 自己株式                         | △ 747,553  | △ 747,553  |
|                                   |            |            | 評価・換算差額等                     | △ 19,585   | 47,575     |
|                                   |            |            | 純資産合計                        | 7,172,841  | 7,165,858  |
|                                   |            |            | 負債純資産合計                      | 12,589,184 | 12,729,052 |

(注1)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。(注2)POINTの記載は、対前連結会計年度末比となっております。



## ●四半期連結損益計算書

(単位:千円)

| 科 目             | 当第2四半期連結累計期間                | 前第2四半期連結累計期間                |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                 | 自 平成22年4月1日<br>至 平成22年9月30日 | 自 平成21年4月1日<br>至 平成21年9月30日 |
| 売上高 ①           | 13,944,191                  | 13,759,459                  |
| 売上原価            | 12,638,824                  | 12,657,746                  |
| 売上総利益           | 1,305,367                   | 1,101,712                   |
| 販売費及び一般管理費      | 832,369                     | 881,966                     |
| 営業利益 ②          | 472,997                     | 219,745                     |
| 営業外収益           | 57,051                      | 72,887                      |
| 営業外費用           | 3,148                       | 113                         |
| 経常利益 ③          | 526,900                     | 292,519                     |
| 特別利益            | 161,720                     | 102,068                     |
| 特別損失            | 318,345                     | 139,237                     |
| 税金等調整前四半期純利益    | 370,276                     | 255,350                     |
| 法人税、住民税及び事業税    | 230,574                     | 66,623                      |
| 法人税等調整額         | △ 89,297                    | △ 11,491                    |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 228,999                     | —                           |
| 少数株主利益          | —                           | 13,085                      |
| 四半期純利益 ④        | 228,999                     | 187,133                     |

## ●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 科 目                 | 当第2四半期連結累計期間                | 前第2四半期連結累計期間                |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                     | 自 平成22年4月1日<br>至 平成22年9月30日 | 自 平成21年4月1日<br>至 平成21年9月30日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 518,960                     | 419,985                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △ 342,842                   | △ 280,506                   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △ 164,878                   | △ 156,810                   |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 11,239                      | △ 17,331                    |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 3,581,176                   | 3,194,645                   |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高    | 3,592,416                   | 3,177,314                   |

(注1)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。(注2)POINTの記載は、対前年同期比となっております。

### POINT 1

#### 売上高

イービジネスサービス事業の売上が堅調に推移したこと、ソリューション事業の売上増により、13,944百万円となりました。

### POINT 2

#### 営業利益

大型不採算案件による損失がなくなった上、コスト削減効果と売上増による稼働率の向上により増益となり、472百万円となりました。

### POINT 3

#### 経常利益

持分法適用関連会社の減少に伴う、持分法による投資利益の減少はありましたが、526百万円となりました。

### POINT 4

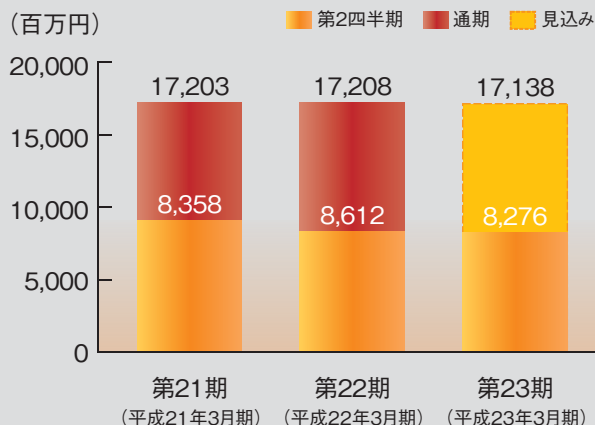
#### 四半期純利益

特別損失で投資有価証券評価損などを計上したものの、投資有価証券の売却益で特別利益を計上し、228百万円となりました。

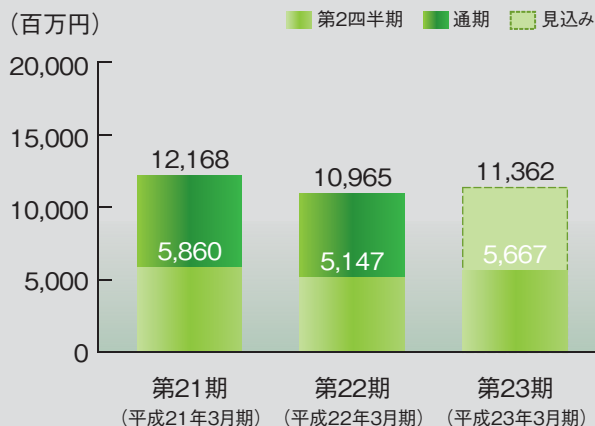
# 通期の業績見通し・会社概要

## 事業別連結売上高の推移

### ●イービジネスサービス事業



### ●ソリューション事業



(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ●通期の業績見通し

イービジネスサービス事業は、当社事業軸である「Online Business Solution & Service」におけるEC-BPOソリューション&サービスに該当します。EC事業者へのバックオフィス業務運営のトータルサービスにおいてオートリニューアルサービスが開始されており、更新率の向上による売上増、および高付加価値商材への誘導による収益の安定が見込まれます。継続してシステムの自動化、省力化、経費削減を推し進め、収益向上に尽力してまいります。

ソリューション事業は、当社事業軸である「Online Business Solution & Service」におけるWebマーケティングソリューション&サービス、モバイルソリューション&サービス、および「Cloud Enabling®」に該当します。

「Online Business Solution & Service」におけるWebマーケティングソリューション&サービスでは、Webアクセス解析ソリューションである「SiteCatalyst」「RTmetrics」の販売実績が好調に推移しています。また、今期より新たにECプラットフォームサービスである「C-OMPS® SellingClub」や、「クラウド型TeamSite」の販売を開始しました。顧客数も順調に増やしており、今後の利益貢献が期待できます。また、モバイルソリューション&サービスでは、グループ企業であるソフトバンクモバイル株式会社との協業が進んでおり、実績を積み上げることができました。

「Cloud Enabling®」においても、相次いで新サービスの販売を開始しています。クラウド型オンラインストレージ共有サービス「Share IT ! Fits」、マイクロソフト株式会社提供のクラウドサービス「Online Services」に対応したID・Device統合管理ソリューション「Online Service Gate」等の販売を開始しました。販売開始以降、順調に引き合い、受注件数を増やしており、今後の利益貢献が期待されます。

これらの状況を踏まえ、通期の業績は、連結売上高28,500百万円(前期比+1.2%)、連結営業利益1,100百万円(前期比+30.7%)、連結経常利益1,100百万円(前期比+18.3%)、連結当期純利益450百万円(前期比+19.5%)と予想しております。



## ●会社概要

商 号 ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
本店所在地 東京都新宿区西五軒町13番1号  
事業所※1 飯田橋オフィス(本社)、大阪支社、名古屋オフィス、福岡支社  
事業内容 イービジネスサービス事業およびソリューション事業  
ホームページ <http://www.softbanktech.co.jp/>  
資本金 634,555千円(平成22年9月30日現在)  
従業員数 417名(連結) 389名(単体)(平成22年9月30日現在)  
主な子会社 M-SOLUTIONS株式会社

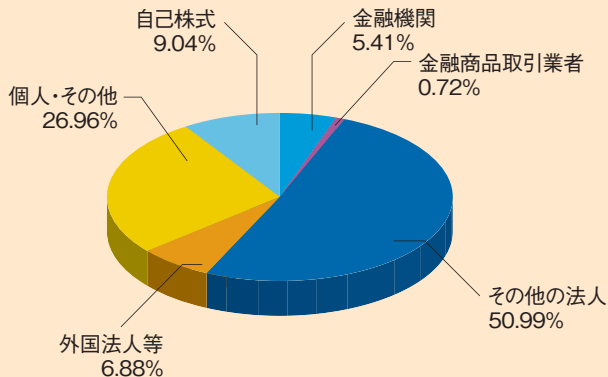
## ●役員※2

|         |        |
|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 石川 憲和  |
| 取締役     | 志水 直樹  |
| 取締役     | 桐 榮 誠一 |
| 取締役     | 中澤 信一  |
| 取締役     | 青木 克志  |
| 取締役     | 佐藤 光浩  |
| 取締役     | 丸山 耕市  |
| 常勤監査役   | 岩瀬 岑生  |
| 監査役     | 佐野 光生  |
| 監査役     | 後藤 芳光  |
| 監査役     | 三木 雄信  |

## ●株式の状況(平成22年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数……………42,560,800株  
発行済株式の総数……………10,640,200株  
株主数……………4,769名

## ●所有者別持株比率(平成22年9月30日現在)



※1 お茶の水オフィスは平成22年8月23日をもって飯田橋オフィス(本社)に統合いたしました。

※2 取締役 鈴木勝則は平成22年10月31日をもって辞任いたしました。

## ●大株主(平成22年9月30日現在)

| 株主名                                                                | 持株数<br>(株) | 持株比率<br>(%) |
|--------------------------------------------------------------------|------------|-------------|
| ソフトバンク株式会社                                                         | 5,367,500  | 55.45       |
| ビービー エイチ フォー ファイデリティー<br>ロープライス ストック フアンド<br>(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行) | 650,000    | 6.71        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                                          | 158,400    | 1.63        |
| 石川 憲和                                                              | 120,000    | 1.23        |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                            | 119,500    | 1.23        |
| 山田 勝男                                                              | 60,000     | 0.61        |
| 金子 博昭                                                              | 50,000     | 0.51        |
| 真鳥 俊幸                                                              | 39,000     | 0.40        |
| クリアストリーム バンキング エス エー<br>(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)               | 37,268     | 0.38        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)                                         | 34,400     | 0.35        |

(注)持株比率は、自己株式(961,775株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

|           |                                                                                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度      | 4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                                |
| 期末配当金基準日  | 3月31日                                                                                                                                                          |
| 定時株主総会    | 毎年6月                                                                                                                                                           |
| 株主名簿管理人   | みずほ信託銀行株式会社                                                                                                                                                    |
| 同 連 絡 先   | みずほ信託銀行 証券代行部<br>〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)                                                                                       |
| 上 場 取 引 所 | 東証第一部(コード番号 4726)                                                                                                                                              |
| 公 告 方 法   | 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。<br><a href="http://www.softbanktech.co.jp/">http://www.softbanktech.co.jp/</a> |

## お知らせ

- ①株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。  
(特別口座管理機関 連絡先)  
三菱UFJ信託銀行 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL.0120-232-711 (フリーダイヤル)
- ③未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店およびみずほインベスターズ証券本支店でお支払いいたします。



## ソフトバンク・テクノロジー 株式会社

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町13-1 飯田橋ビル3号館  
TEL. 03-5206-3300 (代表)  
<http://www.softbanktech.co.jp/>

●本誌の内容に関しましては広報IR室にお問い合わせください。

広報IR室 TEL. 03-5206-3316

